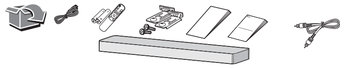
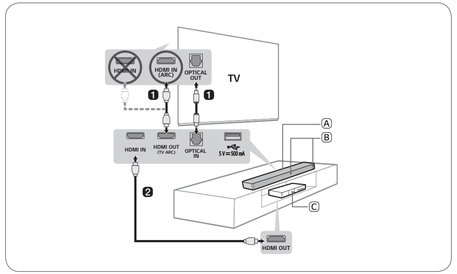
LG
Life's Good

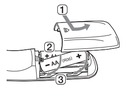
簡易マニュアル

サウンドバー

SP2W







MFL71456256
2108_Rev01

www.lg.com/jp
Copyright © 2021 LG Electronics Inc.
All Rights Reserved.

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

日本語

本製品の設置と使用

ご使用前にこのマニュアルをよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。
詳細説明を参照するには、https://www.lg.com/jp にアクセスするか QR コードをスキャンして、取扱説明書をダウンロードしてください。本マニュアルの内容の一部は、お使いの製品と異なる場合があります。

Ⓐ サウンドバー
Ⓑ リモコンセンサー / ステータスLED (以下の表を参照)
Ⓒ 外部デバイス - (ブルーレイプレーヤー、ゲーム機など)

電源オン	スタンバイ	OPTICAL / HDMI ARC	Bluetooth の準備完了	Bluetooth	LG TV	HDMI IN	USB
赤色で点滅	赤色	白色	青色で点滅	青色	白色	白色	緑色

❶ 光ケーブルや HDMI ケーブルを使って、サウンドバーをテレビに接続します。
❷ 外部デバイス (ブルーレイプレーヤー、ゲーム機など) を使用している場合、HDMI ケーブルを使ってサウンドバーに接続します。
❸ お使いのテレビを操作する
① 3つのLEDのうちの一番上のLEDが白色に点灯するまで、**機能** (SP) ボタンを繰り返し押します。
② テレビの設定で、出力スピーカーを [HDMI ARC]、[光]、または [外部スピーカー] に設定します。
❹ 本機とスマートフォンを Bluetooth® で接続する
① スマートフォンの **設定** ボタンをタップして **Bluetooth** を選択します。
Bluetooth 機能をオンにします。(**オフ** > **オン**)
② **Bluetoothペアリング** (⠿) ボタンを押します。しばらくすると、3つのLEDのうちの2番目のLEDが青色に点灯し、点滅します。
③ スマートフォンで本製品を検索しタップします。本製品は「LG SP2W (XX)」と表示されます。
❺ LG Sound Barアプリに接続します。
① スマートフォンのGoogle PlayまたはApp Storeで、LG Sound Barアプリを検索してインストールします。
② [設定]の[ヘルプ]を選択して、使用方法に関する詳細情報をご覧ください。

- デザイン (設計など) や仕様は、予告なく変更されることがあります
- Google PlayはGoogle LLCの商標です。

日本語

仕様
電力要件
- 銘版ラベルを参照してください。

消費電力
- 銘版ラベルを参照してください。

寸法 (W x H x D) : 約 760.0 mm x 63.0 mm x 90.0 mm
パスパワー (USB) : 5 V ⎓ 500 mA
アンプ (合計RMS出力電力) : 100 W RMS

2.4 FH1

モーションリモート用 (Bluetooth)
この表示のある無線機器は、2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式として FH-SS方式を採用し、与干渉距離は10m です。
<本製品の使用上の注意事項>
本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) 及び特定小電力無線局 (免許を要する無線局) 並びにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。
1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止した上、巻末の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えば、パーティションの設置など)について相談ください。
3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、巻末に記載のカスタマーセンターにお問い合わせください。

LG
Life's Good

修理の受付・操作・故障に関するお問い合わせ窓口

LG Electronics Japan(株) カスタマーセンター

固定電話から (フリーダイヤル) **0120-813-023**

携帯電話・PHS から (ナビダイヤル) **0570-200-980** (有料)

IP 電話などからフリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用いただけない場合は TEL:03-5675-7323 までご連絡ください。

お客様からご提供いただいた個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
利用目的の範囲内での当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。
お客様の個人情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。

受付時間 : 9:00 ～ 18:00 (年末年始など当社指定日を除く)

修理に関するご案内

ご使用中、不具合や異常が生じた際は、本説明書に沿ってご確認いただき、なお異常のあるときは、電源をオフにして、コンセントを抜いてから当社カスタマーセンターに修理をご依頼ください。

■ 保証期間中
保証書の規定に従って、当社サービスセンターが修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎている時
修理すれば使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理ご依頼の際にご連絡いただきたい内容
・ ご住所、お名前、電話番号
・ 製品名、モデル名、製造番号
・ お買い上げ日、ご購入店名
・ 故障の状況 (できるだけ具体的に)

■ 保証書 (別添) について
ご購入の際は、ご購入の年月日、販売店名などの所定事項が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。製造番号は安全確保上重要なものです。商品本体の製造番号と保証書記載の製造番号が一致しているかお確かめください。保証期間は保証書に記載されています。

■ ご注意
保証期間中に正常な使用状態で故障した場合は、無料修理させていただきますが、保証書の提示がない場合や、一般家庭外 (たとえば業務用) で使用したことによる故障修理は有料修理となります。詳しくは保証書記載の [無料修理規定] をご確認ください。
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作によりけがをすることがあります。(故障時は有料になります。)

LG Electronics Japan 株式会社
〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3
京橋トラストタワー 15 階

安全にお使いいただくために

この「安全にお使いいただくために」は、商品を正しく安全にお使いいただき、また事故や危険を未然に防ぐためのものです。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

⚠ 警告 取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意 取り扱いを誤った場合、人がけがをしたり物的損害を受けたりするおそれがある内容を示しています。

■ **図記号の意味**

禁止 禁止内容 （してはいけないこと） を表しています。

プラグを抜く / ぬれ手禁止 注意内容 （気をつけること） を表しています。

指示 指示内容 （しなければならないこと） を表しています。

⚠ 警告 異常や故障のときは

- 本機を倒したり、筐体が破損したときはすみやかに電源プラグを抜く。
  そのまま使用すると火災や感電の原因となります。すぐに当社カスタマーセンターにご相談ください。

プラグを抜く

- 故障や異常に気づいたら本機の電源を切り電源プラグを抜く。
  - 煙や異臭がする。
  - 画面が映らない、音が出ない。
  - 内部に液体や異物が入った。

  そのまま使用すると火災や感電の原因になります。すぐ当社カスタマーセンターに修理をご依頼ください。

プラグを抜く

⚠ 警告 電源について

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、加熱したりしない。
  火災や感電の原因になります。コードが破損した場合は、直ちに当社カスタマーセンターにコードの交換をご依頼ください。

禁止

- 電源プラグは根元までしっかりと差し込む。
  電源コンセントに差し込んだ電源プラグが外れかけたまま使用された場合、火災や感電の原因となります。電源プラグを長い間差し込んだままお使いになる場合には、定期的にご確認ください。

指示

⚠ 警告 電源について

- 交流 100V 以外の電圧で使用しない。
  火災や感電の原因となります。

禁止

- 電源コードに重いものを載せない。
  火災や感電の原因となります。

禁止

⚠ 注意 電源について

- 電源コードを熱器具に近づけない。
  電源コードの被覆が溶けて火災や感電の原因となる場合があります。

禁止

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
  感電の原因となる場合があります。

ぬれ手禁止

- 電源プラグを抜くときはコードを引っ張らない。
  電源コードの損傷や断線により、火災や感電の原因となる場合があります。

禁止

- タコ足配線をしない。
  火災や感電の原因となる場合があります。

禁止

- 本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源ボタンまたは電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。

⚠ 注意 電源について

- 接地（アース）接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行う。
  また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行う。

禁止

- 本製品付属の電源コードセット以外を使用しないでください。他の機器などの電源コードセットは絶対に使用しないでください。異なる電圧や極性の電源コードセットを使用すると故障の原因になります。付属以外の電源コードセットの使用による故障は保証の対象外になります。

⚠ 警告 設置について

- 屋外や浴室など、水がかかるおそれのある場所や、窓際など水滴の発生する場所に置かない。
  火災や感電の原因となります。

禁止

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
  本機が倒れたり落下したりすると、火災や感電の原因になります。
  また、本機の下敷きになり、けがをするおそれがあります。

禁止

- 振動のある場所に置かない。
  振動で本機が動いたり、倒れたりすると、火災や感電の原因になります。また、本機の下敷きになり、けがをするおそれがあります。

禁止

- 本機の近くに花びんや水の入った容器などを置かない。
  水がこぼれて内部に入った場合、火災や感電の原因となります。

禁止

⚠ 注意 設置について

- 転倒・落下防止の処置をする。
  地震などによる転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するため、転倒・落下防止の処置をしてください。

指示

- 温度の高い場所に置かない。
  直射日光のあたる場所、閉め切った自動車内、ストーブのそばなどに置かないでください。キャビネットの変形や故障による火災や感電の原因となる場合があります。

禁止

- 湿気やほこりの多い場所、油煙の当たる場所に置かない。
  調理器や加湿器などのそばやほこりの多い場所に置くと、火災や感電の原因となる場合があります。

禁止

- 電源プラグが容易に抜き差しできるように設置する。
  本機は主電源プラグを遮断装置として使用しております。機器は主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにしてください。

指示

- 通気孔を塞がない。 製造者の指示に従って設置する。
  キャビネットのスロットや開口部は通気のためにあり、製品の正常な作動と、過熱防止のために必要です。製品をベッド、ソファ、敷物などの上に置くことによって開口部を塞ぐことが決してないようにしてください。適切な換気が確保できるか、製造者による指示が貼付されている場合を除き、製品を本箱や棚に組み込んで設置してはいけません。

⚠ 警告 ご使用について

- 包装に使用しているポリ袋は小さなお子様の手の届くところには置かない。
  かぶったり飲み込んだりすると、窒息などの事故につながる恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

禁止

- 内部に異物を入れない。
  通風孔などから内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。特に小さいお子様が誤って異物を入れたりしないようご注意ください。

禁止

  修理や改造、分解をしない。
  内部には高電圧の部品が使用されており、触れると感電の原因となります。故障や点検は、必ず当社カスタマーセンターにご依頼ください。

禁止

- 雷が鳴り出したら電源コードやプラグに触れない。
  感電の原因となります。

禁止

- 風通しの悪い場所に設置したり、密閉した箱などに入れたりしない。
  通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。壁や他の機器と間隔を空けて設置してください。
  仰向けや横倒しにして設置したり、また、布などをかけて使用することはおやめください。

禁止

⚠ 注意 ご使用について

- 本機に寄りかかったり乗ったりしない。
  けがの原因となる場合があります。とくに小さなお子様にはご注意ください。

禁止

- 旅行などで長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグを抜く。
  万一の故障のときに火災の原因となる場合があります。

プラグを抜く

⚠ 警告 お手入れについて

電源コンセントに差し込んだ電源プラグの周りにゴミやほこりが付着している場合、乾いた布でふき取る。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
事故、火災防止のため、定期的に電源プラグを点検してください。

指示

⚠ 注意 お手入れについて

- 乾電池を火の中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 乾電池は、極端な温度条件下で保管しないでください。

指示

- お手入れのときは電源プラグを抜く。
  感電の原因となる場合があります。

プラグを抜く

- リモコン用の乾電池を正しく使用する。
  指定以外の乾電池は使用しない。
  極性表示[＋]と[－]を間違えない。
  充電・過熱・分解をしたり、ショートさせたりしない。
  表示されている「使用推奨期限」を過ぎた乾電池や使い切った乾電池はリモコンに入れておかない。
  種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
  液漏れや破裂によって、やけどやけがの原因になる恐れがあります。

指示

バッテリーを使用するモデルの場合

本製品はポータブル電源または蓄電池を装備しています。

注意： 電池を不適正なものに交換すると、火災や爆発の恐れがあります。

リモコンの電池が切れたときは

リモコンから乾電池を取り外す際は、取付けの手順を逆に行ってください。乾電池、または電池パックの廃棄は、お住まいの地域の自治体の指示または規則に従って、正しく処分してください。電池を火の近くや直射日光の当たる場所、暖房器具や加湿器の近くなど高温・高湿の環境に置かないでください。

注意： 本機が水滴やは水を受けないように、液体の入った花瓶などを本体の上に置かないでください。

注意： 製品識別および定格電圧を含む安全表示については、本機の下面にあるメインラベルを参照してください。

また、本機の近くで高電圧機器を使用しないでください。機器間の電圧の干渉により、本機が故障するおそれがあります。

内蔵型電池を使用しているモデルの場合

気圧が11.6 kPa よりも低い場所や、15,000 m を超える場所での保管や輸送をしないでください。

- 電池を適合しないものに交換すると、使用上の安全を保証できなくなります（例えば、一部のリチウム電池の場合）。
- 電池を火気や高温の炉に投げ入れたり、機械的に破壊・切断を行うと、爆発につながる可能性があります。
- 電池を温度の極めて高い環境に放置すると、爆発や可燃性液体や ガスの流出につながるおそれがあります。
- 電池を気圧の極めて低い環境に放置すると、爆発や可燃性液体や ガスの流出につながるおそれがあります。

本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。

シンボル

～	交流（AC）を示しています。
⎓	直流（DC）を示しています。
⧈	クラスⅡの機器を示しています。
⏻	スタンバイを示しています。
I	「ON」（電源）を示しています。
⚡	危険な電圧を示しています。